【報道発表資料】

2026 年 11 月 10 日
中国旅行ドットコム
代表　安田こうじ

生成 AI 時代に検索流入が急減　元公務員が「一次情報×人の手」手法を確立

30年の行政実務とIT運用で培った検証力を活かし、「AI丸投げ」による誤情報リスクを抑える独自手法を開発。地域の事業者の持続可能な自立広報を支援

中国旅行専門情報サイトを運営する「中国旅行ドットコム」（東京都北区）は、検索順位が下がらないまま検索経由のクリックが約1/10に急減した当事者経験を契機に、現場にあるリアルな情報を届ける「中小・個人事業者向けWEBコンテンツ発信支援スキーム」を体系化しました。

プログラミングコードを書けない「非エンジニア」でありながら、公務員時代に経験した現場とITを繋ぐ調整力と厳格な検証力を活かし、事業者が語る現場ノウハウやこだわり（口述音声・手元テキスト等）から3媒体（WordPress・note・X）の原稿と独自分析レポートを一括生成し、開発者が確認・調整を行う独自制作スキーム　WEB匠「一筆入魂」（商標登録出願中）を構築しました。インターネットでの継続的な情報発信に悩む事業者の課題解決に向け、「実証実験モニター」の公募を開始します。

1　背景　～生成 AI 検索の台頭と地域事業者を襲う「情報が届かない」危機～

地方公務員として30年の勤務の中で、医療情報システムの開発・運用（医療スタッフと開発ベンダー間の調整）や広報業務・WEBサイト運営に携わってきた開発者は、自ら運営する中国旅行専門サイトで検索順位が下がらないまま、Google検索経由のクリックが約1/10に急減する事態に直面しました。



［データ背景］ 検索エンジンの生成AIが検索結果画面で回答を直接要約・提示する機能の普及により、利用者がサイトを訪問せず離脱する現象が加速。（Ahrefs調査：情報収集型キーワードでAI概要が表示される日本の検索1位のクリック率は、予測値比62.7％低下。2026年6月）

この環境変化は、専任広報を置けない中小・個人事業者にとって深刻な死活問題です。「時間をかけても読まれない」「生成AIに丸投げすると誤情報が混ざる」「専任担当者を置く余裕がない」という構造的障壁を打破するため、中小事業者が持続して発信できる仕組みの構築に着手しました。

2　発表の骨子　～AI 任せにしない「一次情報×人の手」ハイブリッド型スキーム～

文章作成をAIに全自動で丸投げせず、事業者の一次情報（口述音声や手元テキスト等）をもとにAIが生成し、開発者が人の手で確認・調整を行う協働体制を仕組み化した点が特徴です。

■ 本スキームが提供する3つの解決価値

① 誤情報リスク抑制と品質担保 ： 1回1,500字超の口述テキストなどに基づきAIの誤情報を抑制

② 執筆短縮とチェック体制 ： 事業者は素材準備、AIが短時間出力、開発者が確認・調整

③ 1素材から3媒体へ同時展開 ： WordPress（解説）・note（ストーリー）・X（要約）原稿を一括生成



AIによる出力結果（抜粋）

3 制作手法の仕組みと従来手法との比較

項目	生成AI	WEB制作会社	WEB匠「一筆入魂」
一次情報	誤情報リスク有	時間拘束有	音声・テキストの提供（負担小）
人の関与	利用者が確認	制作側が担当	開発者が確認・調整
納品物	生テキストのみ	契約媒体のみ	独自分析レポート＋3媒体原稿

4 開発者ストーリー ～元地方公務員の知見と激変に対応する当事者意識～

AIに頼り切ったWEBコンテンツ制作では、事実と異なる内容（ハルシネーション）を出力するリスクがあり、信用が命である地域の中小企業や個人事業主にとっては大きな痛手となります。私自身、「何を投入し、どこに制約をかけ、何を人が確かめるのか」という設計思想は、公務員時代の経験の賜物です。自サイトの流入激減という逆境を経験したからこそ、同じようにWEBでの情報発信において苦境に立つ地域の事業者に寄り添い、それを支える仕組みを実現したいと形にしました。

5 今後の展開とメディア関係者様向け取材のご案内

■ 中小・個人事業者向け「実証実験モニター」の公募開始（2027年1月31日まで）

本手法による成果物の質、制作手順、運用負担を検証するため、中小・個人事業者を対象とした実証実験モニターを正式公募します。（上限社数なし・東京23区・埼玉県南部は出張対面支援に対応） 詳細 https://yasudakoji-restart.com/tech/cms/monitor.html

■ 報道関係者向け取材のご案内

・ 音声入力からAIの原稿生成、確認・調整までの全体フローを説明します。

・ 「非エンジニアのAI活用」「中小・個人事業者のWEBコンテンツ発信の課題」について解説します。

・ 開発者への指定場所取材のほか、開発者チェック作業の撮影も個別相談可。オンライン取材可。

【本件・取材に関するお問い合わせ先】
中国旅行ドットコム 代表 安田こうじ
連絡先 https://yasudakoji-restart.com/media-request-form
公式サイト https://yasudakoji-restart.com/ 公式note https://note.com/yasuda_koji

※ 本資料は東京都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブに配布しています。